

平成 29 年度
春季北海道学生
スポーツ射撃競技大会

期 日:平成 29 年 5 月 6 日(土)・7 日(日)

場 所:宮の沢屋内競技場

主 催:日本学生ライフル射撃連盟 北海道支部

大学名:

氏 名:

大会次第

集合	5月6日(土) 9:00		
開会式	5月6日(土) 9:15～		司会:赤坂 信太郎 (総務幹事)
	開会の辞	畑中 敬太 (副幹事長)	
	大会委員長挨拶	土橋 隆一 (支部長)	
	選手宣誓	北海道大学	
	競技審判委員長注意	畑中 敬太	
競技種目	10m エアーライフル立射 60 発競技(ARS60M)		
	10m エアーライフル立射 40 発競技(ARS40W)		
	10m エアーライフル膝射 20 発競技(ARK20MW)		
	10m エアーライフル伏射 60 発競技(ARP60MW)		
	10mSCATT 立射 40 発競技(SCATTS40MW)		
競技日程	これらは、下記のとおりとする。		
閉会式	5月7日(日) 15:00～		司会:赤坂 信太郎 (総務幹事)
	成績発表	竹内 悠馬 (総務)	
	講評	土橋 隆一 (支部長)	
	閉会の辞	畑中 敬太 (副幹事長)	
表彰	ARS60M	団体	優勝杯:1位 賞状:2位まで
		個人	トロフィー:3位まで 賞状:6位まで
	ARS40W	団体	優勝杯:1位 賞状:1位
		個人	トロフィー:3位まで 賞状:6位まで
	ARK20MW	個人	メダル:1位 賞状:3位まで
	ARP60MW	個人	メダル:1位 賞状:3位まで
	SCATTS40MW	個人	景品:1位 賞状:3位まで

競技日程

		S60	S40	K20	P60
6日(土)	1/A	11:00～ 12:30	11:00～ 12:00	/	/
	2/B/X	14:00～ 15:30	14:00～ 15:00		
7日(日)	3/C/Y	10:00～ 11:30	10:00～ 11:00	10:00～ 10:30	/
	S60 Final	13:00～ 14:00	/	/	

		SCATT
7日(日)	a	10:00～ 10:30
	b	11:30～ 12:00
	c	13:00～ 13:30

大会要綱

1. 参加資格

品位と名誉を重んじ、礼儀と規律を守り、スポーツマンの模範となるような健全な精神を持ち、開催全種目とも、日本学生ライフル射撃連盟加盟校の射撃部員または、学連会議において参加が認められたもの。

2. 参加申し込み方法

参加申し込みは、参加受付期間中に各大学単位で申し込むこと。段級を受験する者があれば合わせて申し込むこと。

3. 参加料

1種目	2,000 円 (SCATT は 1,000 円)
2種目以降	1 種目につき1,000 円 (膝射は 500 円)

4. 射座割り、仕事割り

これらは、別記のとおりとする。

5. 競技上の注意

競技は、ISSF競技規則、及び慣例をもって行う。

(1) 服装・銃器

1. 競技開始前に、用具検査を受けなければならない。
2. 用具検査は、大会期間中いつでも受けることができる。用具検査は用具検査室にて行う。
3. 用具検査はISSF競技規則、及び慣例をもって行う。
4. 不体裁な服装をしているもの、あるいは規格外の銃器を使用している者は出場を禁止することがある。

6. ファイナル進出の可否が問われる順位決定

競技規則集 6.15.1 及び 6.17.1.1 を適用し決定する。

7. 抗議

- (1) 競技に関する抗議は、その事態発生後20分以内に主将名で文書にて競技審判委員長宛に提出すること。
- (2) 審査に関する抗議は、発表後 10分以内に主将名で文書にて競技審判委員長宛に提出すること。
- (3) 文書における抗議は 1 件につき 50.00 ユーロとする。抗議が認められれば抗議料は返却する。

8. 安全規定

日本ライフル射撃協会国内危害予防規定並びに競技規則 6.2 の安全規定を遵守のこと。これらの規定に違反したときはジュリー団の多数決により警告を経ずに減点、失格を科すことがある。

参加上の注意

1. 標的の記入には十分注意して、黒のボールペンまたはサインペンを使用し、不適格な場合は修正したあと必ず訂正印を受けること。訂正印なきものは無効となることがある。
2. 出場選手の変更をしようとする場合や棄権をする場合は、「射座変更・棄権申請書」を競技開始の10分前までに競技委員長宛に届け出ること。いずれの場合も届出がなければ失格とする。なおこれらの届出は学連指定の用紙を使用すること。
3. 射手の遅刻は競技開始後何分でも認める。但しファイナルにおいては30分前の出頭に遅刻した場合減点とし、出頭時刻後10分以内に出頭しなかった選手は最初の脱落者とし、DNS表示がなされる。
4. 射撃線より前方に人がいない限り、空撃ち・照準練習は行っても良い。ただし実弾を発射してはならず、競技進行の妨げとならないようにすること。
5. 審査室内では飲食・喫煙は禁止。
6. 危険防止について参加選手は勿論、各大学主将もその責任において十分注意を払うこと。
7. 審査中は、関係者以外の審査室への出入りを禁止する。
8. 射座後部は通路、ギャラリー席になっているが、競技中は静かにすること。
9. 宮の沢屋内競技場は土足厳禁。
10. 宮の沢屋内競技場では、ゴミの分別収集を行っているのでゴミを捨てる際にはきちんと分別し、指定されたゴミ入れへ捨てること。
11. 射場内(2階)禁煙及び、電子機器の使用禁止。
12. 控室は競技の妨げにならないよう節度をもって利用すること。
13. 競技大会にふさわしい服装で参加すること。
14. 各射群ごとに数名の選手を指名、選出し、競技後検査(フォローアップ検査)を実施する。フォローアップに関する銃器、用具を許可無く射座から持ちだしてはいけない。

射 座 割 り

AR	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
1/A	10m S	10m S	10m S60	10m S60	10m S60	10m S	10m S60	10m S60	10m S60	10m S	10m S60	10m S60	10m S60	10m S	10m S40	10m S40	10m S	10m S	10m S
	予備	予備	西村 怜	田端 健祐	鈴木 崇仁	予備	富樫 充	後藤 光史	長谷川 達也	予備	村松 英一郎	門田 真和	赤坂 信太郎	予備	貝澤 風海	梅津 亜美	予備	予備	予備
				団体	団体			団体	団体						団体				
2/B/X	10m S	10m S	10m S	10m S60	10m S60	10m S	10m S60	10m S60	10m S60	10m S	10m S40	10m S40	10m P60	10m P60	10m P60	10m P60	10m P60	10m P60	10m P60
	予備	予備	予備	三浦 竣太	本間 崇文	予備	八木野 有亮	畑中 敬太	豊森 開	予備	尾上 樹里	久保田 美羽	村松 英一郎	太田 凌平	予備	新井 麻由	鈴木 崇仁	貝澤 風海	予備
								団体	団体			団体							

AR	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
3/C/Y	10m S	10m S	10m S	10m S60	10m S60	10m S	10m S60	10m S60	10m S60	10m S60	10m S	10m S40	10m S40	10m S40	10m S	10m K20	10m K20	10m K20	10m K20
	予備	予備	予備	竹内 悠馬	石坂 駿人	予備	朝倉 頌	成澤 健斗	太田 凌平	金井 貴寛	予備	新井 麻由	福田 有里子	山本 佳奈	予備	村松 英一郎	長谷川 達也	鈴木 崇仁	予備
												団体							

SCATT	1	SCATT	1	SCATT	1
a	10m S40	b	10m S40	c	10m S40
	中村 純也		杉山 碧		近藤 健太

仕事割り

	1/A	2/B/X	3/C/Y
射場 Jury	太田 凌平	長谷川 達也	畑中 敬太
審査 Jury	朝倉 頌	朝倉 頌	赤坂 信太郎
射場長	豊森 開	赤坂 信太郎	豊森 開
射補	石坂 駿人	富樫 充	久保田 美羽
審査長	山本 佳奈	石坂 駿人	貝澤 風海
確認	北大	北大	北大
記 点	北大	北大	北大
	道科	道科	学園
記録・計算	久保田 美羽	西村 怜	梅津 亜美
	北大	北大	北大
回収	北大	学園	道科

	Final
審査 Jury	学連
射場 Jury	学連
射場長	学連
審査長	学連
監的	各校
	各校
	各校
	各校
回収	学連
	学連
読み上げ	学連

SCATT射場長	a	b
	西村 怜	富樫 充
	c	
	竹内 悠馬	

大会役員

大会・競技委員長 土橋 隆一
大会組織委員長 朝倉 頌
競技審判委員長 畑中 敬太

ジュリー 朝倉 頌
畑中 敬太
長谷川 達也
赤坂 信太郎
太田 凌平

企画幹事 長谷川 達也
段級幹事 豊森 開
記録幹事 福田 有里子
会計幹事 太田 凌平
総務幹事 赤坂 信太郎

企画 石坂 駿人
運営 久保田 美羽
山本 佳奈
書記 梅津 亜美
徽章 貝澤 風海
西村 怜
総務 竹内 悠馬
三色 富樫 充

平成 29 年度春季北海道学生スポーツ射撃競技大会
公式パンフレット

発行日 平成 29 年 4 月 25 日
発行者 日本学生ライフル射撃連盟
北海道支部幹事長 朝倉 頌
編集・作成 企画幹事 長谷川 達也